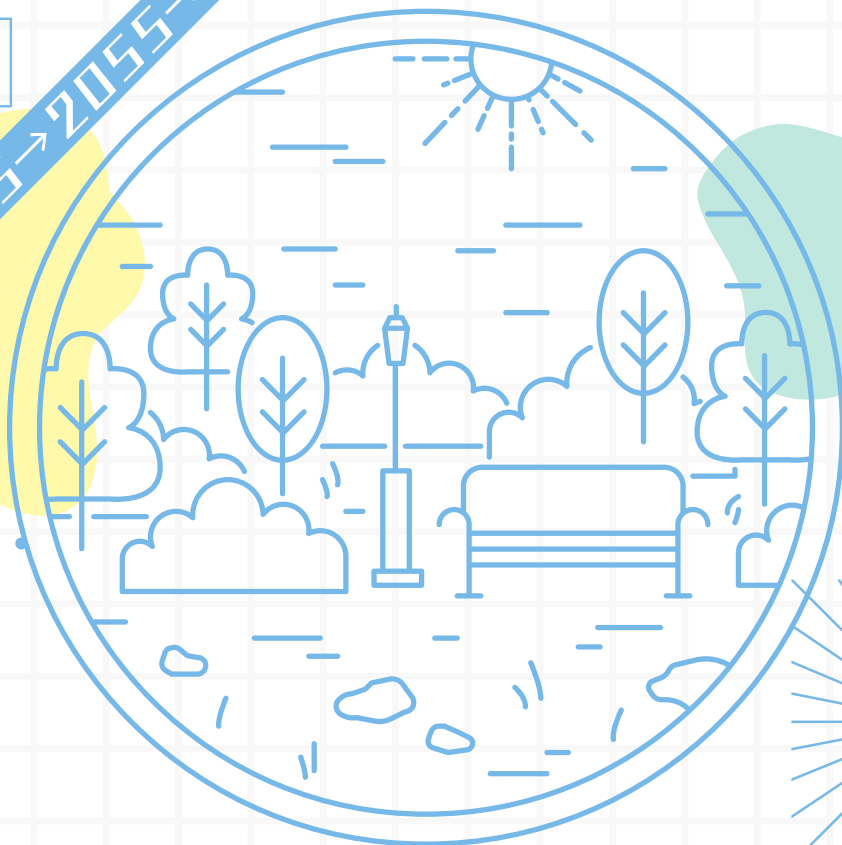


2025→2035→2045→2055→2065



村民がAIと専門家と描く 泰阜村のこれから

泰阜村では現在、長期的な総合計画とランドデザイン（超長期的な村の設計図）を作成しています。検討にあたり、村民のみなさまのご意見を伺う場を設けます。村の未来を考えるヒントになるよう専門家の講演と、未来がイメージしやすいようAI画像生成を出口とした意見交換会を実施します。ぜひご参加ください。

2025.12.9 火 19:00-21:30

場所

泰阜村役場 農林指導室

参加費

無料

専門家による特別講演



多方面から農村政策を牽引する明治大学の小田切徳美教授に持続可能な地域づくりの考え方を伺います。

ワークショップ+AI画像生成

みなさんの意見をもとに、その場でAIで村の未来予想図を生成します。あなたならどんな未来を描きますか？



特別講演

地域づくりは、焦らず、慌てず、諦めず！

講演テーマ

「新しい地域づくり」

村のことは村民が決める。そんな理念のもとで持続可能な地域をつくっていく段取りや、これからの私たちができることを考えるヒントをご教示いただきます。



小田切 徳美 (おだきり・とくみ) 氏

明治大学農学部教授。1959年、神奈川県生まれ。総務省「過疎問題懇談会」座長、農林水産省「農村RMO推進研究会」座長、国土交通省「移住・二地域居住等促進専門委員会」委員長等を歴任。近著に「にぎやかな過疎をつくる——農村再生の政策構想」(農山漁村文化協会)。



2026→2035

総合計画とは

泰阜村の根っこの計画

第6次泰阜村総合計画は、泰阜村が今後10年間(2026年~2035年)でどんなことをしようか、どんな村を目指そうかということを決める一番の基本となるとても大切な計画です。現在、あらゆる面から議論を重ねています。それに加えて今回は50年後の超長期的視点を持った「泰阜村グランドデザイン」も作成しています。みなさんのご意見も含めて、よりよい未来をつくれるよう丁寧に検討していきます。

20:20-21:20

未来を描こう！ ワークショップ+AI画像生成

泰阜にはどうしてコンビニがないんだろう？農作業がもっと楽にできたらいいのに——。未来の泰阜村でやってみたいこと、あってほしいものなど、「こうだったらいいのに」を少しでも考えたことはありませんか？ワークショップ(意見交換)をもとにAIで画像生成して「もしもの世界」をのぞいてみましょう！いただいたご意見は精査し、第6次泰阜村総合計画に反映します。

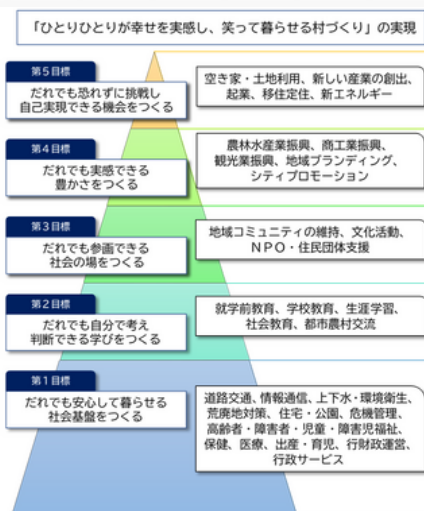


AI画像生成の例

(泰阜村、複合型商業施設、若者、自動運転バス)

この画像はGoogle Geminiを使用して生成 ※当日は別のAIを使う場合があります。

第6次泰阜村総合計画 基本目標 (原々案)



事前登録

当日参加も可能ですが、会場準備のため以下の二次元コード、またはお電話にてできるだけ事前登録をお願いします。参加できない場合でもこちらからご意見のみ送ることも可能です。



<https://ws.formzu.net/dist/S42458443/>

主催

泰阜村役場

担当

村づくり振興室 山崎/土岐

問い合わせ先

0260-26-2111(TEL)

kikaku@vill.yasuoka.lg.jp